

【壁 塗り替えの目安】



塗膜のチョーキング

経時による紫外線劣化などによって、塗膜が粉状になり、色あせを生じる。

注意事項

高圧水洗

下塗材の選定

上塗材の選定



塗膜の汚染

雨水による雨じみ、コケ、カビの付着、繁殖、換気口廻り等の油分留出によって起こる汚染。

注意事項

高圧水洗

カビとり剤などによる除去、水洗(カビ)、
ケレン(コケ)

中性洗剤などによる除去、水洗(油分)



塗膜のふくれ

下地からの雨水・湿気などによる影響、密着不良などによる影響により躯体や旧塗膜から浮きを生じる。

注意事項

ふくれ部の除去

原因の究明

（雨水による影響の場合は原因箇所の防水処理）

コンクリートの下地補修



シーリング材の破断

躯体の動き、収縮によって破断を生じる。経時の紫外線による影響により、シーリング材が劣化し破断を生じる。

注意事項

シーリング材の除去

シーリング材の選定



塗膜のひび割れ

経時の紫外線による影響により、トップコートが劣化し、弾性を失って、割れを生じる。
トップコートが下地よりも硬く追従できずに割れを生じる。

注意事項

高圧水洗

密着不良部の除去

下地調整材の選定



塗膜のはがれ

下地からの雨水・湿気などによる影響、密着不良などによる影響により、コンクリートや旧塗膜から浮いた状態となり、経時で進行し、はがれを生じる。

注意事項

高圧水洗などによる密着不良部の除去

原因の究明

(雨水による影響の場合は原因箇所の防水処理)

下塗材の選定



コンクリートのひび割れ

開口部廻りやコールドジョイント部で建物の動きによって、ひび割れが生じる。

注意事項

躯体補修

下地調整材、下塗材の選定



モルタルの浮き

化粧モルタルが経時でコンクリートから遊離し、浮きを生じる。

注意事項

躯体補修工事(ピンニングなど)

下地調整材、下塗材の選定



エフロレッセンス

雨水などの浸入によってコンクリートが中性化を生じ、アルカリ分が溶出、結晶化を生じる。

注意事項

躯体補修

原因の究明

（雨水による影響の場合は原因箇所の防水処理）



鉄筋の爆裂

雨水などの浸入によってコンクリートが中性化されることにより、鉄筋が腐食、錆の膨張し、コンクリートが破壊、剥落を生じる。

注意事項

躯体補修工事

下地調整材、下塗材の選定



錆の発生

鉄が露出した部分などが、雨水などの影響により、鉄に錆が発生する。

注意事項

強度不足の場合、交換
ケレン
錆止め塗料による改修

【壁 旧塗膜の判別方法】



ラッカーシンナーによるラビングテスト

塗 膜	状 態
エマルション塗料	膨潤
1液弱溶剤型塗料	溶解
2液弱溶剤型塗料	溶解せず軟化
1液溶剤型塗料	溶解
2液溶剤型塗料	溶解せず
油性塗料	溶解せず 場合によってはチヂレ
合成樹脂調合ペイント	溶解せず 場合によってはチヂレ

【壁 下地に対する下塗材の選定】



外装材

外装材	水系	溶剤系
コンクリート・モルタル	カチオン浸透 エポプライマー	プライマーH
スレート		
PCa板		
ALC板	セフトイフイーラー (15%水希釈)	-----
金属系サイディング (塩ビコーティング)	水性サビ止め プライマー	エクセルプライマーII

※ 適応下塗材は、あくまでも代表例です。
素材、種類によっては密着性の安定しない場合があります。



内装材

内装材	水系	溶剤系
コンクリート・モルタル	カチオン浸透 エポプライマー	プライマーH
スレート		
石膏ボード	レスメルシーラー	———
08ケイカル板	カチオン浸透 エポプライマー	プライマーH
10ケイカル板		
壁紙	レスメルシーラー	———

※ 適応下塗材は、あくまでも代表例です。

素材、種類によっては密着性の安定しない場合があります。